

平成29年度

# 学校だより

第1号

2017年4月8日

ヒューストン日本語補習校

## 平成29年度のスタート

本日4月8日、平成29年度が始まりました。昨年度より大幅な園児・児童・生徒数の増加のため、全体で6学級増やすことにしました。幼稚園部73名、小学部361名、中学部92名、高等部36名、合計562名の在籍となります。(昨年度スタート時より68名増となります。)例年の様子から、4月はもう少し転入があるのではないかと予測しています。

このヒューストン日本語補習校で学ぶ日数には限りがあります。全ての園児・児童・生徒がかけがえのない一日一日であることを実感していただけるよう全職員で努めてまいります。どうぞよろしくお願いします。

### 《入園・入学式学校長式辞より(抜粋)》

幼稚園部の皆さん、今日から、ヒューストン日本語補習校の仲間です。たくさんのお友だちを作って、楽しく遊んでください。そして遊びを通していろいろな事を学んでください。遊びは勉強の缶詰です。毎週、補習校に行くのが楽しみだと思えるようになってください。頑張りましょう。

小学部1年生の皆さん、今日から1年生としての勉強が始まります。国語、算数、合科の勉強です。国語、算数の勉強は、これからの学校生活を送っていく上で、最も大切な勉強の一つです。

補習校では、その他にも様々な行事や取組もあります。是非、積極的に取り組んでくれることを期待しています。大切なことは担任の先生を好きになることです。友だちをたくさん作ることで、補習校での勉強や宿題なども頑張ってください。

中学部1年生、高等部1年生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは、縁あってこのヒューストンで人生の新たなステージに立ったところです。皆、それぞれの「思い」を抱いて入学したことでしょう。「夢や希望」「やりたいこと、チャレンジしたいこと」など、自分の「思い」を大切にしたいと思えます。しかし、「思い」や「願い」を持つだけでは何も実現しないということは、皆さんもよくわかっていると思います。具体的な行動が必要なのです。夢や希望を実現するための道標(みちしるべ)を描いてください。

## 平成29年度学級担任等

校長 立野誠之

幼稚園部 星組：辻村淑美 宙組：スミス麻美  
月組：小野 香 花組：具志堅理絵  
副担 グラハム貴子、ケーブル智子

小学部

小1 A組：若槻さおり B組：デイリー裕子  
C組：金子陽子 D組：芦田友紀

小2 A組：谷口夏櫻 B組：名生有公子  
C組：田中博子 D組：ニール花厘

小3 A組：リッテンマイヤー美智子  
B組：ブレナン朱美  
C組：大塚みつる

小4 A組：前田しのぶ B組：大津京子  
C組：鈴木佐和子 D組：山鹿恵里  
高野真紀子(社会担当)

小5 A組：伊藤美央 B組：亥本房子  
C組：片岡久美子  
松浦里香(算数担当)

小6 A組：岡崎尚子 B組：キム千佳  
C組：明石愉紀  
中田弓子(算数担当)

中学部

中1 A組：石井昭子(数学担当)  
B組：ジョンソン知亜紀(国語担当)

中2 A組：佐藤暁子(国語担当)  
B組：清水 亮(数学担当)

中3 A組：河島通子(国語担当)  
島田亜希(中1・2社会担当)  
ケーブル智子(中3社会担当)  
宮城健一(中1・2・3理科担当)  
藤井真介(中3数学担当)

高等部

担任：宗吉康子(国Ⅱ・国Ⅲ担当)  
河島通子(国Ⅰ担当)  
藤井真介(数Ⅰ担当)  
佐々谷一恵(数Ⅱ・数Ⅲ担当)

救護

宮城由佳理

事務局

高田益美 福田美草子

岩佐ヨシ ライブロック祐子

どうぞよろしくお願いします。

# 新任教員紹介

## 幼稚部花組担任 具志堅理絵

本年度より幼稚部を担当させていただくことになりました具志堅理絵です。子ども達ひとりひとりの個性を尊重した関わりをしていきたいと思えます。また子ども達が成長した時に「楽しかった幼稚部時代」と思い出せるような時間を一緒に作っていきたくと思っています。これから始まる一年にわたし自身ワクワクしております。全力で取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 幼稚部副担任 グラハム貴子 (及び中3社会)

幼児部副担任を務めさせていただきますグラハム貴子です。全てが初めての経験で子供達同様、期待と不安の入り混じった気持ちですが、彼らと共に色んな事を学んでいきたいと思えます。子供達一人一人の個性を受けとめ、いい方向に伸ばしていくことが出来るように、頑張っていきたいです。よろしくお願ひ致します。

## 幼稚部副担任 ケーブル智子

本年度よりご縁があって幼稚部副担任と中三の歴史を担当することとなりましたケーブルです。日本よりアメリカでの暮らしの方が長くなりましたが、子供達と一緒に日本語、日本の文化風習を忘れられない様に、そして守っていける様に、頑張っていきたいと思っています。また子供達と過ごすことができる上に大好きな歴史を教えることになりましてとても楽しみにしております。子供達が勉強しやすいように、学校へ来るのが楽しく思っている様に、一生懸命努力していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

## 小1D組担任 芦田友紀

今年度より1年担任として就任いたしました、芦田友紀です。教員免許を取得したものの、進学時に教職は諦めた夢でしたが、年月を経てそして思いもよらぬ異国の地で実現することができ大変嬉しく思っております。生徒一人ひとりの個性を尊重し、できる喜びが自信となっていけるよう、またそうしたきっかけ作りに尽力したいと思っています。毎週、「今日こんなことがあったよ!」と子供たちが保護者の方と語り合えるような授業展開を心掛け、勉強が嫌気ではなく目的意識をもったヤル気となるよう、保護者の皆様と二人三脚で学習定着に図りたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

## 小2C組担任 田中博子

小学部2年C組を担当させていただく事になりました田中博子(たなかひろこ)と申します。保護者の方々と協力し合い、お子様一人ひとりの心を精一杯受け止め、一生懸命に向き合い補習校生活そして補習校学習を通して一緒に成長していきたいと思っています。至らない点は、ご指導下さい。どうぞ宜しくお願ひ致します。

## 小2D組担任 ニール花厘

4月から2年D組の担任としてヒューストン日本語補習校に変わりましたニールです。学生時代にはマサチューセッツ州ボストンにて学校に通い、結婚後は3年間カリフォルニア州サンディエゴ、そしてヒューストンには今年の2月でまる2年になりました。また私も保護者の方と同じく3児の母です。子供達の好奇心や柔軟性を大切にし、毎週土曜日の日本語補習校での授業、お友達との時間が楽しみになるような学級作りを皆さんとしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願ひ致します。

## 小3組担任 大塚みつる

昨年秋、ユタ州よりテキサス州へと引っ越してきました。補習校に携わるのはこちらの学校で3校目です。引っ越し先々で補習校とのご縁に恵まれ、先生として貴重な経験をさせていただいてきました。気持ち新たにこちらの補習校で再出発させていただきたいと思えます。春色4月、ヒューストンでの新たな子ども達との出会い、保護者の皆様との出会いに胸弾ませております。どうぞこれから宜しくお願ひいたします。

## 小4C組担任 鈴木佐和子

小学部4年C組の担任をさせていただくことになりました、鈴木佐和子です。以前、他州の日本語補習校の教員として勤務した経験があります。子供達の好奇心や感性にはいつも驚かされる日々でした。このたび、ひさしぶりの教員復帰となり、また新たにどんな個性との出会いがあるのかとても楽しみにしています。個々の力を大切に、また日本語で学ぶ楽しさを感じてもらえるように頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 小6C組担任 明石愉紀

はじめまして。明石愉紀と申します。6年C組を担当させていただきます。 「明るく」「愉快」とワクワクするような授業をしたいと思っています。今まではタイのバンコクで日本語を教えていました。ヒューストンは最近来たばかりなので、いろいろ教えてください。6年生は小学校最後の年なので、一緒にいい思い出がたくさん詰まった年にしましよう。どうぞよろしくおねがいします。

## 小4社会専科 高野真紀子

4月から小学部4年生の社会専科を担当することになりました、高野真紀子です。社会科の時間が待ち遠しくなるような、楽しい授業を心掛けたいと思えます。自分自身も子供達と一緒に学んで行きたいと思えます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

## 平成 28 年度卒園・卒業・修了証書授与式より

天野哲郎総領事より

### 「お祝いの言葉」(要約)



卒業おめでとうございます。

先ほどの高等部修了生の小滝さんの挨拶に感動しました。自分の頭で

考えている、と思

いました。高校生で、ここまで考えられるというのは大変立派です。  
現地校と補習校の二重の学校生活が、どんなに大変かは、経験した人でなければわからないと思いますが、それを不幸と思わないでほしい。かえって幸運な状態であると受け止めるべきです。しつらえられた道に行くのはたやすいことですが、そこには達成感はありません。達成感がないということは、幸せを感じることも少ない。しかし、ここでこういう困難な道乗り越えたところに、本当の成長や喜びがあるのです。

また、アメリカで、違った生活環境や文化の中で育ったきた友達を、どういうふうにするのか、作ったのか、そこに国際人としての経験が生まれるのです。補習校の卒業生には、真の国際化を担ってほしいと、期待をしています。

## 高等部修了生代表挨拶

高等部修了生 小滝早絵



春とはいえ、夏の始めを思わせる、きらめくような日差しの中、今日は私たち卒業生、修了生のためにこのように晴れやかな卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。

また、ご多忙の中参列していただいたご来賓の方々、関係者の方々にも心より感謝申し上げます。

ヒューストン日本語補習校で過ごした日々を振り返ると本当に色々な思い出がよみがえります。高校一年生の8月にヒューストンを訪れた時は、日本語が通じない初めての環境に慣れず、この先やっていけるだろうかという不安ばかり抱いていました。英語は十分に話せず、

学校の課題に苦勞し、新しく友達ができるかも心配でした。そのような時に助けとなったのは補習校の友達でした。補習校で友達と日本語で気兼ねなく話したりすることが大きな心の支えとなりました。英語がわからなくて辛い思いをしたことも、悔しい思いをしたこともありましたが、同じ状況で頑張っている仲間がいるから自分も頑張ろうと思えました。このヒューストン日本語補習校で、楽しい時は共に笑い、辛い時はお互いに支え合う、かけがえのない友達と出会うことができました。

また、補習校の先生方には日本国内と同じ教育カリキュラムを教えてくださいました。アメリカで日本の教育を受けられるということに驚きました。さらに、現地校の宿題や、学校生活に関して相談にのっていただき、アドバイスをいただいたこともありました。ヒューストン日本語補習校での出会いは私の財産です。

そして、そんな友達や先生方に出会う場を与えてくださったのがこのヒューストン日本語補習校です。ヒューストン日本語補習校では驚くことがたくさんありました。毎年宇宙飛行士の方の講演会が行われたり、日本の学校の教科書に載っていた宇宙飛行士の若田さんが学校の餅つきで保護者の方達と一緒に餅をついて下さったり、日本の学校では経験することのできない貴重な体験をすることができました。

これから、私は家族の元を離れ、日本で一人で生活していく予定です。日本とアメリカの両方の教育を受け、比較できる立場に立ち、教育に興味を持つようになりました。この補習校での経験を通して自分が大学で何を学びたいのかははっきりすることができました。イギリスのEU離脱や、アメリカの大統領選挙をきっかけに今世界は大きな変革の時を迎えています。この流動の時代においてまた困難な場面にでくわすこともあるでしょうが、アメリカで培った世界を見る目や、補習校でさせていただいたボランティアの経験なども活かして、自分の学びたいことを追求していこうと思います。

最後になりましたが、校長先生はじめ、諸先生方のご健勝と、ヒューストン日本語補習校のさらなる発展を祈念し、修了生の言葉とさせていただきます。

平成 29 年 3 月 18 日



## 『答辞』 小学部 6年 岡本大洋



今日は、このような素晴らしい卒業式を開いてくださり、心から感謝しています。ぼくたちは、たくさんの人に支えられこの日を迎えることができました。お

忙しい中、卒業式にご出席くださり、また、温かいお言葉をありがとうございます。

ぼくは、ヒューストン日本語補習校には幼稚園から通っています。補習校は、それぞれ環境の異なる友達に通っています。ぼくと同じように幼稚園から通っている友達も少なくありませんが、これまで、たくさんのお出会いと別れがありました。補習校で過ごす期間はそれぞれ違いますが、みんなと一緒に過ごした時間や経験は、とても貴重なものだと思います。

幼稚園からだ、と、七年間、毎週土曜日補習校に通い続けてきたこととなります。今回、小学部を卒業するにあたり、この七年間を振り返ってみました。緊張のあまり、先生の後ろについて会場に入場するのが精一杯だった入園式。初めての運動会は、赤白の勝敗は関係なく、各学年の競技を見ながら応援することがただただ楽しかったのを覚えています。三年生で行ったカネカの工場見学では、スペースシャトルの先端に使われるアピカルを作っていることを知り、興奮したのが昨日の出来事のように。また、補習校では、日本の小学校でもなかなか経験することのない餅つきやお茶会など、日本の文化も体験させていただきました。思い出はまだたくさんありますが、中でも、印象深い思い出となったのは、宇宙飛行士の方々との交流や講演会です。若田宇宙飛行士からいただいたメッセージの中に、このような言葉があります。「一人一人が輝く力を持っています。何に興味を持っているかを探り、これだったら頑張れるといったものを見つけて、夢をつかんでほしい。」ぼくたちは今、まさに何に興味があるかを探っている途中の段階にあると思います。

ここで生活していると、日本ではできない体験や、色々な人との出会いがあったり、とても恵まれた環境にあると思います。もちろん、現地校と補習校二つの学校に通っているため、宿題やテストも二校分と大変なこともあります。しかし、ここでの経験を活かし、これからも色々なことに積極的に挑戦していきたいと思っています。

いつも応援してくださる先生方、そして、どんな時もぼくたちを支えてくれるお父さん、お母さん、ここまで大きくくださりありがとうございました。今日で、ぼくたちの小学校生活は終わり、四月からは中学生になります。中学になると科目も増え、今まで以上に努力をしなければいけないと思います。正直不安はありますが、今まで学んできたことを大切に、これからも一步一步前に進んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。最後に、卒業生代表としてこれを答辞といたします。

## 『答辞』 小学部 6年 柳内美帆



本日は、私たち卒業生のためにお集まりくださり、お祝いの言葉をありがとうございました。卒業生を代表してここに答辞を述べ

させていただきます。校長先生・先生方を始め、来賓の皆様、PTA 役員の方々、お父さんお母さんそして在校生の皆さん、お忙しい中、私たちの卒業式にご出席くださって、温かいお言葉をくださったことに感謝いたします。小学6年生として、この日を迎え、晴れ晴れとした気持ちです。私は去年の2月に日本からヒューストンに参りました。現地校で一緒だった日本人のお友達に『楽しいから早く補習校にも行こうよ』と勧められて、3月の途中から補習校に通うことになりました。

最初の印象はクラスの人数が日本の学校より少なかったこと。また補習校なのに、英語で話している人がいて驚いたことを覚えています。それから一年、今、卒業するに当たって、思い出となっていることは、運動会、茶道教室、餅つき大会といった様々な行事です。特に浴衣を着てお茶とお菓子をいただいた茶道教室は、思い出深いです。母からも「剣道、茶道、お花、日舞などの日本のことをしておくといいわよ。」と言われていたので楽しみにしていました。この体験は、私にとって忘れられないものとなりました。

ただ楽しいことばかりではなく、ヒューストンにきた当初は生活にも慣れてない上に、現地校の宿題もあり、常に時間が足りない状態でした。後回しになりがちな補習校の宿題は量も多く、金曜日の夜にまとめてやることになり、補習校に行きたくないなと思ったこともたくさんありました。でも、補習校に来ると日本語を思い切り話すこと

ができ、現地校での大変さの息抜きとなりました。特にお昼のお弁当をみんなでおしゃべりしながら食べる時、また昼休みに色々なことを話す時が私の一番楽しい時間です。

今日この卒業式は、日本にいたら当たり前なのですが、現地校では既にみんな中学生なので、3月に小学校を卒業するというのは、少し不思議な感覚です。卒業といっても、ほぼ同じメンバーで4月から中学生となるため、不安は少なく、気持ちを新たに切り替えて頑張っていきたいと思えます。

校長先生を始め、来賓の皆さま、先生方、おとうさん、おかあさん、本当にお世話になりました。これからも変わらずご指導のほどよろしくお願いいたします。

卒業生を代表し、ここでもう一度心から感謝を申し上げ、答辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。

### 『答辞』 中学部3年 藤本莉乃



広い空が一段と青く、高く感じられる季節がヒューストンにやってまいりました。日本では桜のつぼみが膨らんでくる頃でしょうか。

先生方、在校生の皆様、私達のためにこのような素晴らしい式典を開催していただき、ありがとうございます。ご来賓の皆様、保護者の皆様、私達の為に（雨の中）足をお運びいただきましたこと、卒業生一同、心より厚くお礼申し上げます。

私達卒業生のクラスには幼稚園の頃からこの補習校に通っている生徒もいれば、中学生で日本からクラスに加わった生徒もいます。また一緒に学び日本や他の国に帰国した生徒もたくさんいます。みんなこのヒューストンで補習校と現地校の両立に必死になっています。アメリカに來たばかりで英語が難しく現地校の勉強に一生懸命な友達もいれば、補習校の勉強、日本の歴史や難しい漢字に悪戦苦闘している友達もいます。立場によってアプローチは違いますが、毎週土曜日の教室はいつも明るく、元気です。

クラス一丸となって挑んだ運動会。国語の授業前に一緒になって練習した漢字。色々な話に花を咲かせ、一緒に食べたお弁当。一時間目、目をこすりながら受けた授業。男子一人のクラスで大勢の女子のおしゃべりが止まらなくて響いた先生の注意する声。

高校生になっても中学生の間、楽しかった事、学

んできた事、そして一生懸命だった事は忘れないでしょう。新しい進学先で様々な夢を抱き、世界へ羽ばたいて行く私達には10年後もきっとこの補習校で培われた強い絆があることを願います。

在校生のみなさん、私は小学校に入ってからこれまで、何度も補習校を辞めるべきか迷いました。補習校と現地校どちらを優先させるべき場面なのか、またどのように取り組めば両立できるのかに苦しんできました。しかし、今振り返ってみると、金曜日の夜ぎりぎりになって終えた宿題や試験の前に必死で勉強した事も全て良い思い出として振り返ることができるようになりました。私自身が何より補習校が好きで、同じ境遇にいる自分の事を理解してくれる友達がいたから続けてこれたのだと思っています。何より補習校で学んだ日本の文化は真の国際人になるためには大事な経験です。今やめようか迷っている皆さんもきっと補習校で習ったことが将来の自分の財産になる事を忘れないで下さい。誰の為でもなく、純粹に自分の夢に近づく為に毎日学び経験しているのです。今後も国境という枠を超えて色々なことに挑戦してください。

最後になりましたが、この補習校で安心して過ごせるよう私達生徒を見守って下さった先生方、事務の方々、またパトロールをして下さった保護者の皆様に心より感謝しています。そして、私を信じ支えてくれた家族がいるからこそ、九年間の補習校生活を完うできたと思っています。義務教育を終え、これから高校生活が始まり、期待と不安が入り混じった複雑な心境ですが、これからも私達を応援してください。



## 『免責に関する同意書』

### の提出について

本同意書につきましては、本校への入園・入学・転入時に提出いただいておりますが、内容等についての再確認の意味も含め、今年度より毎年4月当初に全園児・児童・生徒の保護者より提出していただくこととなりました。

つきましては、4月8日に全園児・児童・生徒に配付しております「免責に関する同意書」に表面は英文で、裏面は日本語で必要事項（上部に園児・児童・生徒氏名及び学年、下部に記載した日付・保護者サイン・保護者氏名）を記載していただき、翌週に担任に提出していただきますようお願いいたします。

## 授業料等の納付について

平成29年度の授業料・教材費等の納入につきましては、金額の詳細が決定した後に通知します。通知以前の納入は控えていただきますようお願いいたします。

## 《今後の予定》 変更する場合があります

- |      |   |
|------|---|
| 4/15 | 新年度 PTA 役員選出<br>クラス写真（小2～6、中2・3、高2・3）         |
| 4/22 | 新年度 PTA 役員会、                                  |
| 4/29 | 避難訓練（2校時）<br>新年度 PTA クラス委員会、PTA 総会            |
| 5/4  | 短縮日課（午前中のみ）                                   |
| 5/13 | 学習参観・学級懇談会<br>（小学部4・5・6年、中学部）                 |
| 5/20 | 学習参観・学級懇談会<br>（小学部2・3年、高等部）                   |
| 5/27 | 学習参観・学級懇談会<br>（幼稚部、小学部1年）<br>中高等部中間考査、PTA 役員会 |

## 保護者カード着用のお願い

保護者の皆様が補習校へ入る場合は、不審者侵入の抑止力として、保護者カードの着用をお願いしています。

### お願い、

補習校より保護者の皆様に一斉メール配信した際、迷惑メール扱いになっている場合があります。適正に受信できるように設定していただきますようお願いいたします。

### 《学籍》

#### 転入

小2 A（奥野心咲）、小2 A（小林小夏）  
小2 A（ジョンストンあきら）、小2 B（前田理帆）  
小2 B（山田進一郎）、小2 D（影山 遼）  
小3 A（大島七海）、小3 C（松沼春杜）  
小5 A（ジョンストン光）

#### 転出（在籍は本日まで）

在籍数（4月8日現在）562名  
幼73名、小361名、中92名、高36名

Japanese Language Supplementary School of Houston  
12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077  
Tel: 281-531-6743 / Fax: 281-531-6795（事務局 火～金）  
Tel.Fax: 713-973-0659（職員室 土のみ）  
E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

（文責）校長 立野誠之